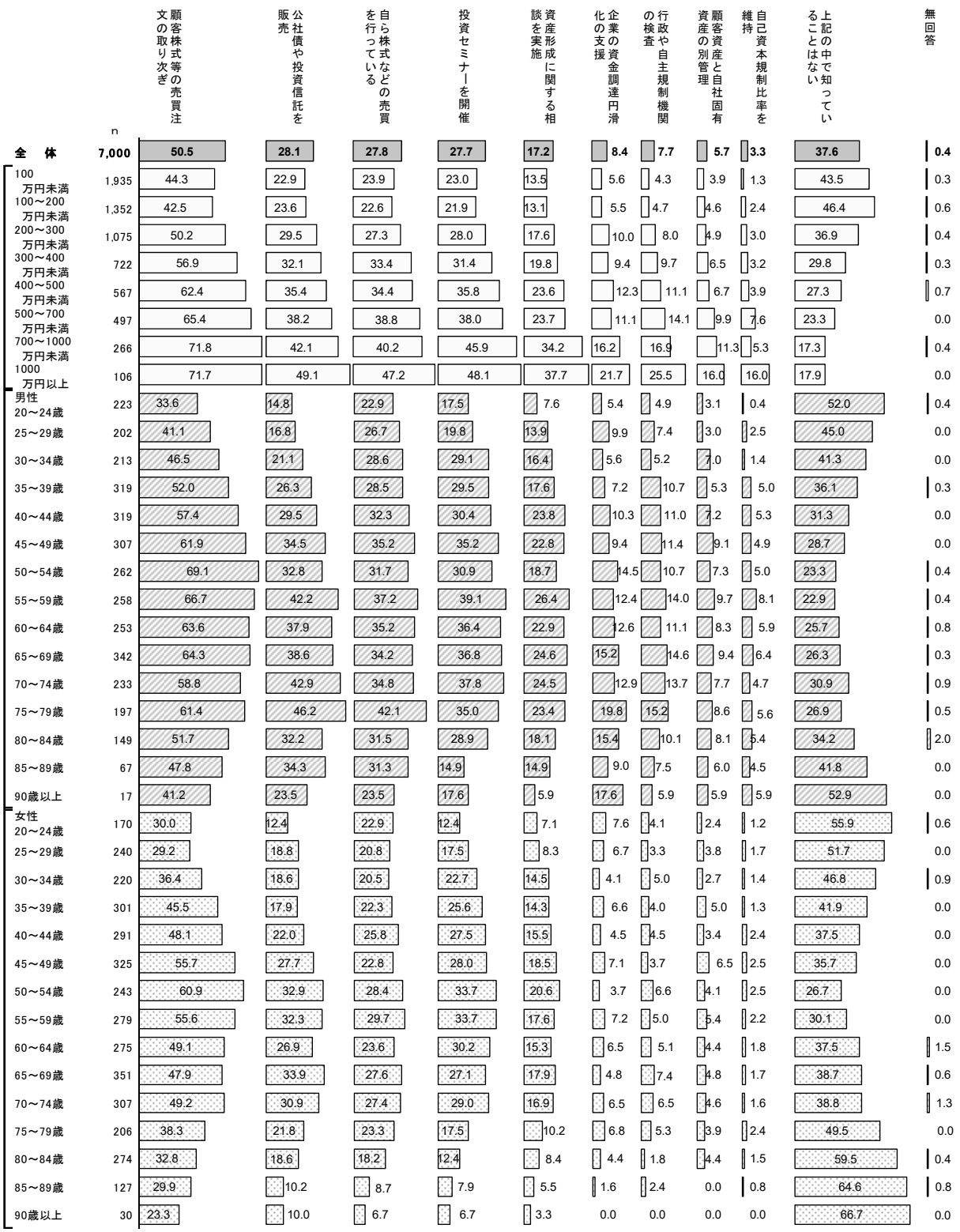
4. 証券会社

(1) 「証券会社」に関する認知事項（問 28）
(2) 証券会社のイメージ（問 29）
(3) 証券会社との取引状況（問 30）
(4) 現在取引している証券会社数（問 30）
(5) 特定口座を開設している証券会社数（問 30）
(6) 取引している証券会社の選択理由（問 31）
(7) 証券会社との主な取引方法（問 32）
(8) 【証券会社と現在取引がない人】証券会社と取引をやめた理由（問 33）
(9) 【証券会社と現在取引がない人】証券会社との取引再開の条件（問 34）

(1) 「証券会社」に関する認知事項（問 28）

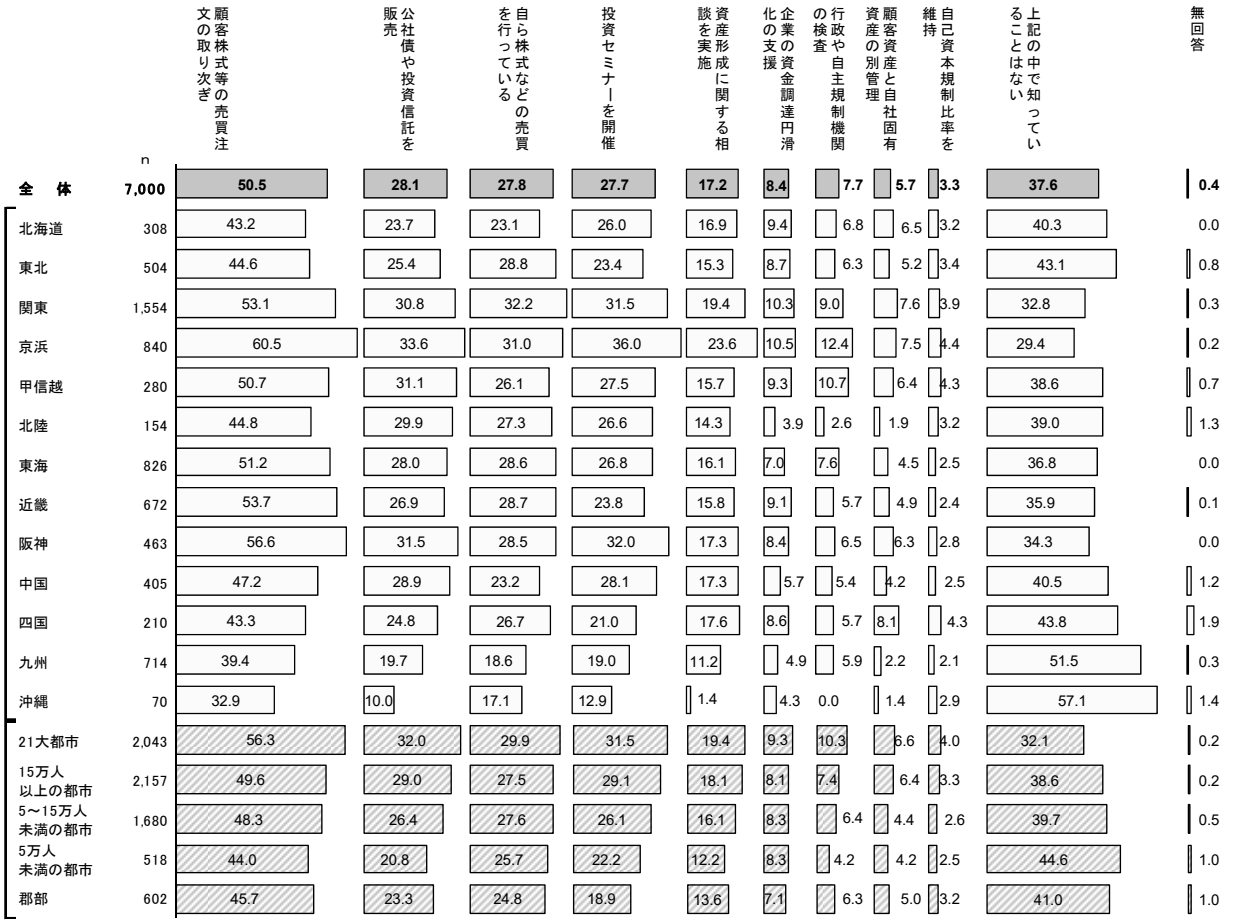
- 証券会社について知っていることを尋ねたところ、「顧客の株式など売買注文を証券取引所に取り次いでいる」が 50.5%と最も高く、次いで「公社債や投資信託を販売している」（28.1%）、「自ら株式などの売買を行っている」（27.8%）、「投資セミナーを開催している」（27.7%）が上位に挙がった。また、「（上記の中で）知っていることはない」は 37.6%となった。
- 年収別でみると、いずれもの項目も、年収が高いほど認知率が高まる傾向がみられた。

図表 4-1　「証券会社」に関する認知事項（複数回答）（問 28）／年収、性・年代別



● 多くの事項の認知率が最も高いのは京浜となった。また、都市規模が大きいほど、認知率が高くなっている。

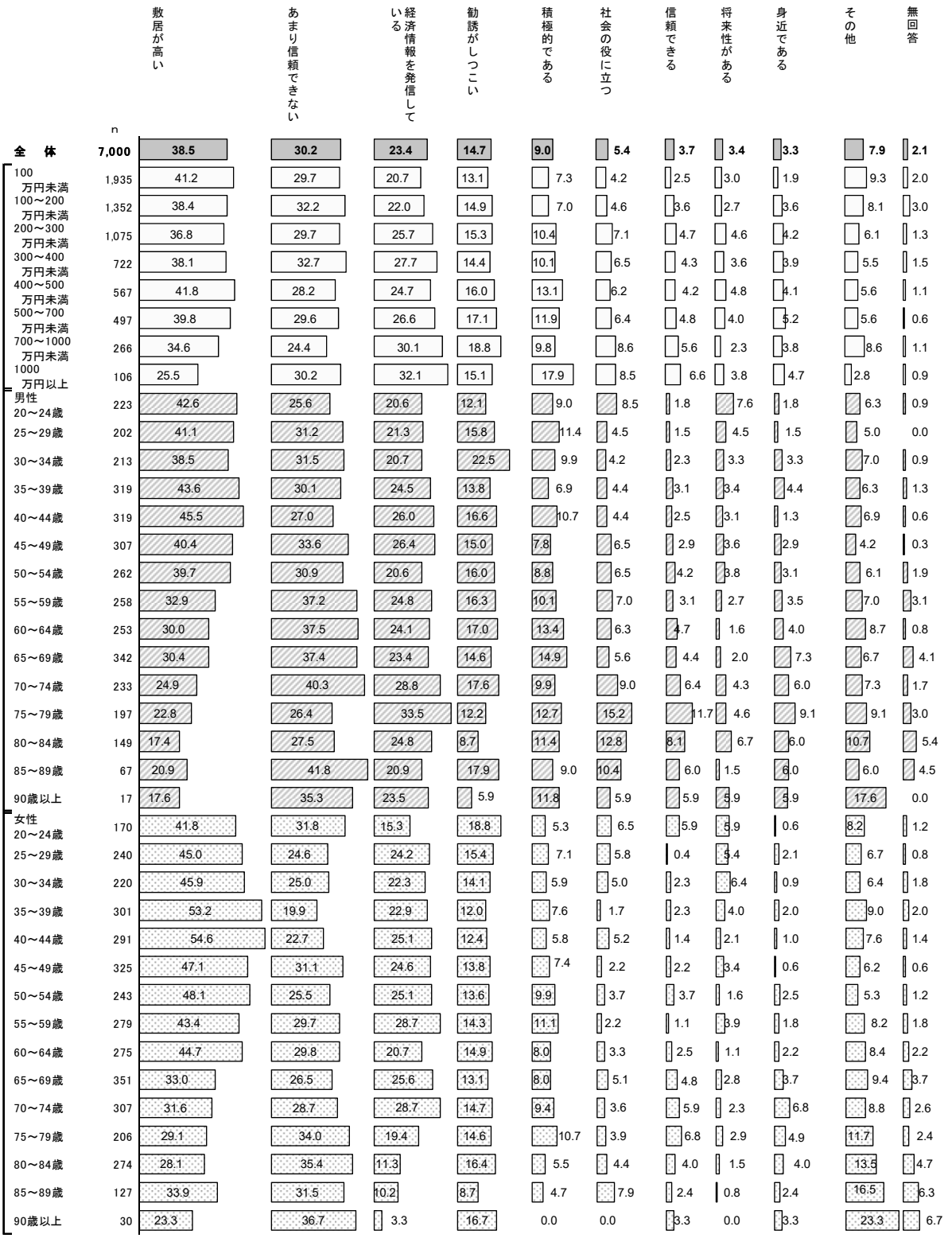
図表 4-2 「証券会社」に関する認知事項（複数回答）（問 28）／地域・都市規模別



(2) 証券会社のイメージ（問 29）

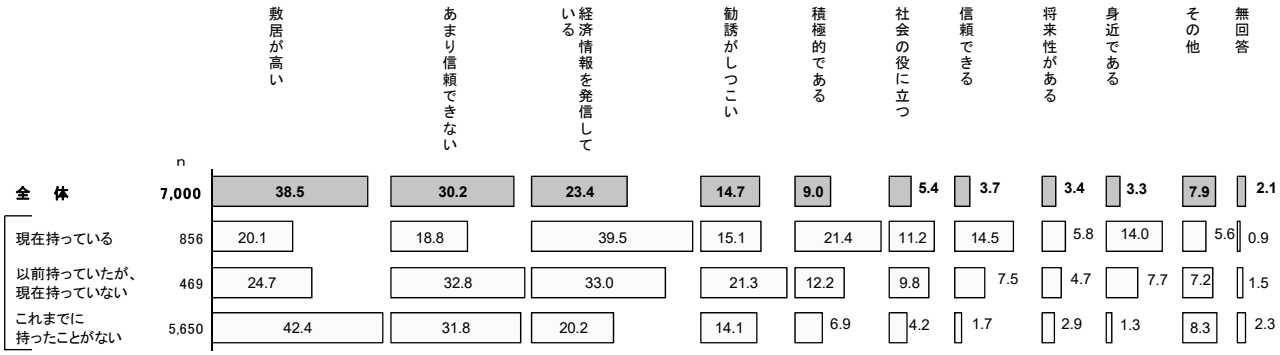
- 証券会社のイメージは、「敷居が高い」が 38.5%で最も高い。次いで、「あまり信頼できない」（30.2%）、「経済情報を発信している」（23.4%）と続く。
- 年収 1000 万円以上の層では、他の層と比べて「敷居が高い」が 25.5%と低く、「積極的である」（17.9%）が高い。
- 年代別でみると、女性 35～44 歳で「敷居が高い」が５割台と高い。

図表 4-3　証券会社のイメージ（複数回答）（問 29）／年収、性・年代別

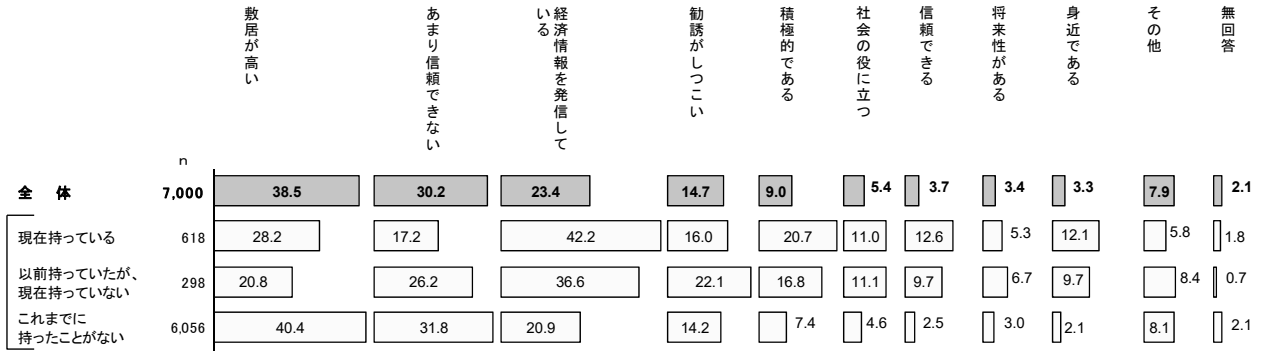


● 金融商品の保有状況別でみると、株式・投資信託・公社債の３種類に共通する特徴として、「これまでに持ったことがない」未保有層では「敷居が高い」の割合が高く、「積極的である」、「社会の役に立つ」、「信頼できる」、「身近である」などの割合が低い。

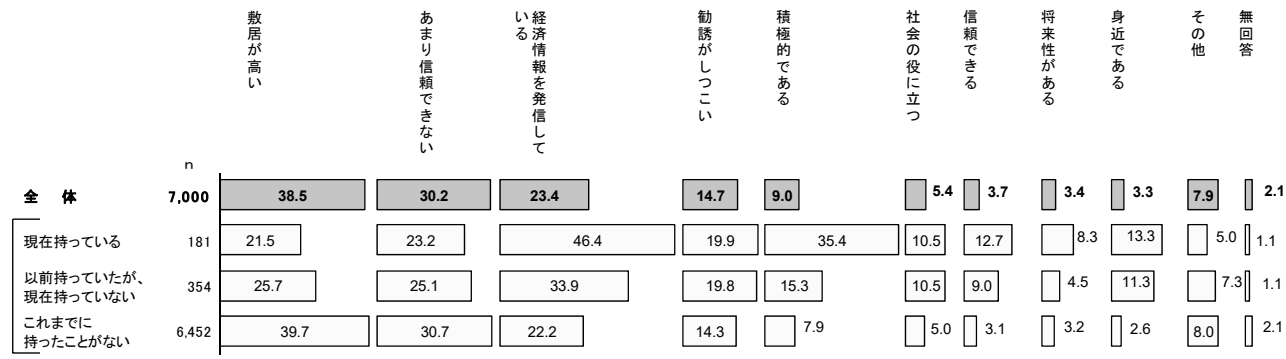
図表 4-4　証券会社のイメージ（複数回答）（問 29）／株式の保有状況別（問 36）



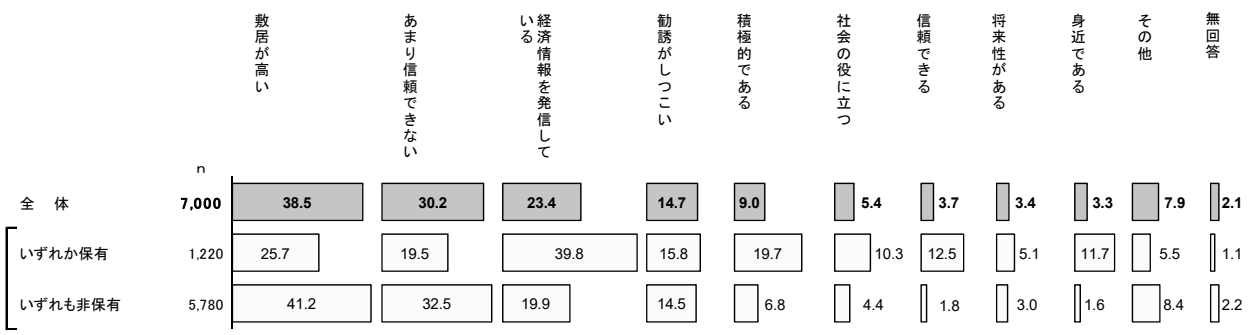
図表 4-5　証券会社のイメージ（複数回答）（問 29）／投資信託の保有状況別（問 43）



図表 4-6　証券会社のイメージ（複数回答）（問 29）／公社債の保有状況別（問 50）



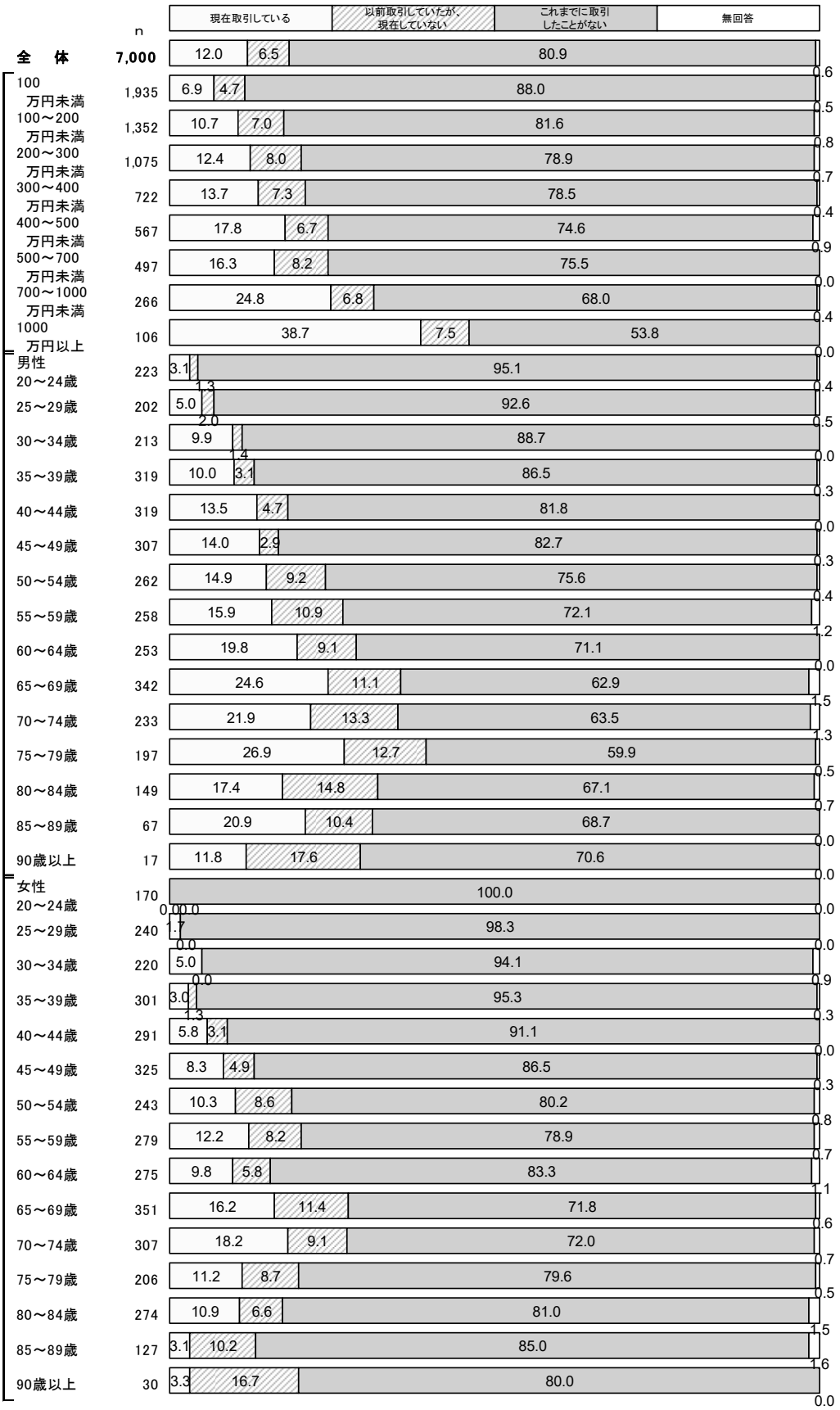
図表 4-7　証券会社のイメージ（複数回答）（問 29）／いずれかの証券保有（問 36・43・50）



(3) 証券会社との取引状況（問 30）

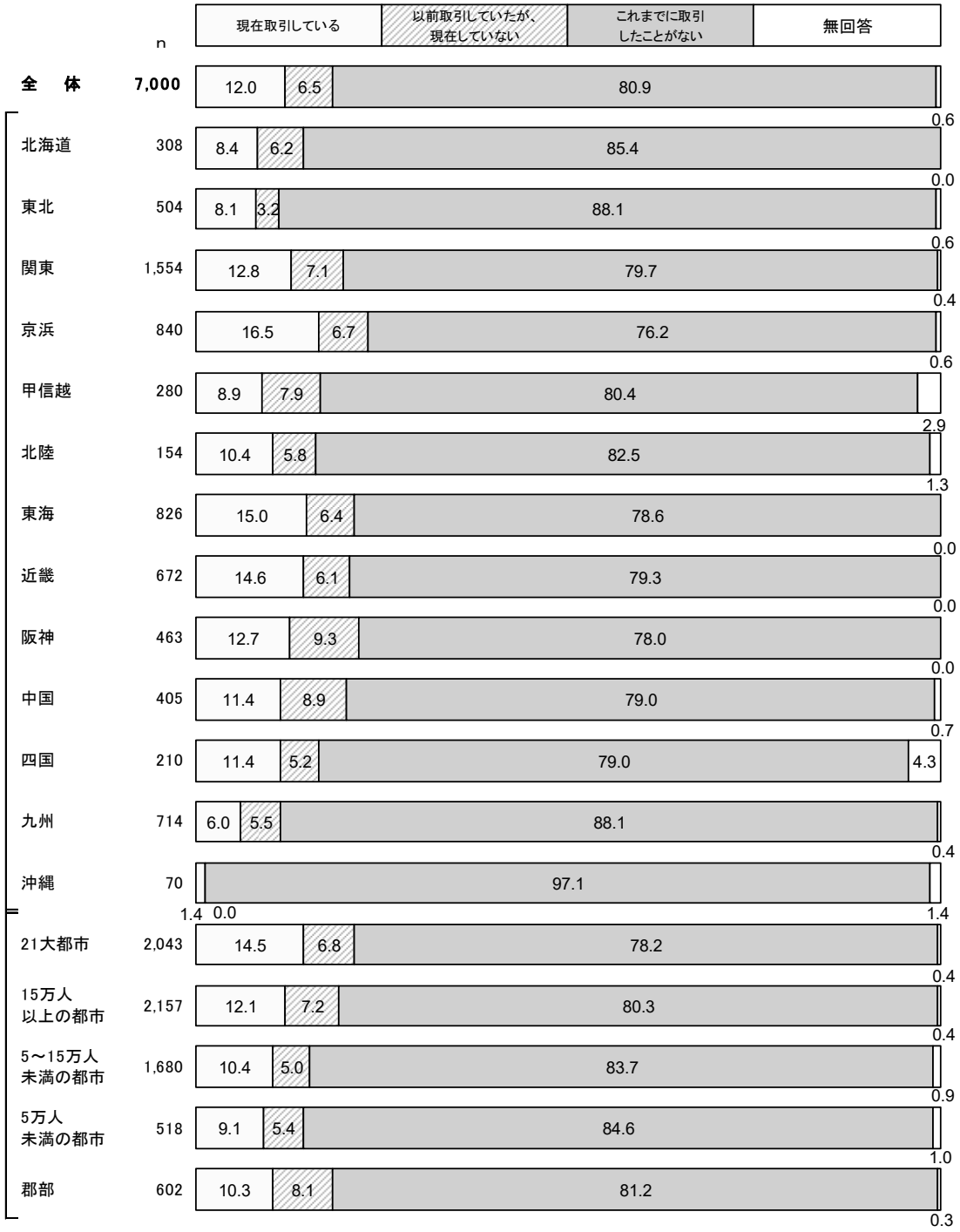
- 証券会社との取引状況をみると、「これまでに取引したことがない」が最も高く 80.9%である。また「現在取引している」(12.0%)、「以前取引していたが、現在していない」(6.5%)を合わせた証券会社との取引経験率は２割弱である。
- 「現在取引している」は年収 700 万円以上で高い。
- 性・年代別でみると、「現在取引している」は男性 60 歳以上、女性 65～74 歳で高い。

図表 4-8　証券会社との取引状況（問 30）／年収、性・年代別



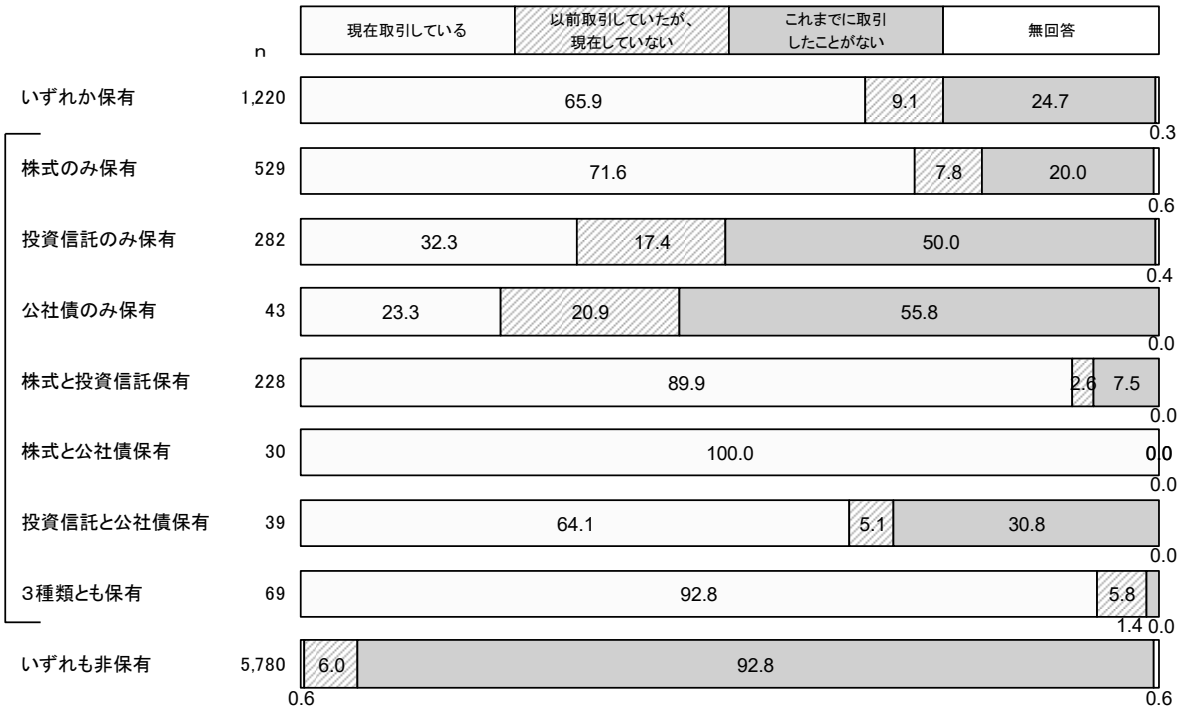
- 地域別でみると、「現在取引している」は京浜が 16.5%で最も高い。次いで、東海(15.0%)、近畿（14.6%）、関東(12.8%)、阪神(12.7%)と続く。
- 都市規模別でみると、「現在取引している」は 21 大都市が 14.5%で最も高い。

図表 4-9　証券会社との取引状況（問 30）／地域・都市規模別



● 証券の重複保有状況別でみると、「現在取引している」割合は、「株式と公社債保有」、「３種類とも保有」、「株式と投資信託保有」では８割以上となっている。

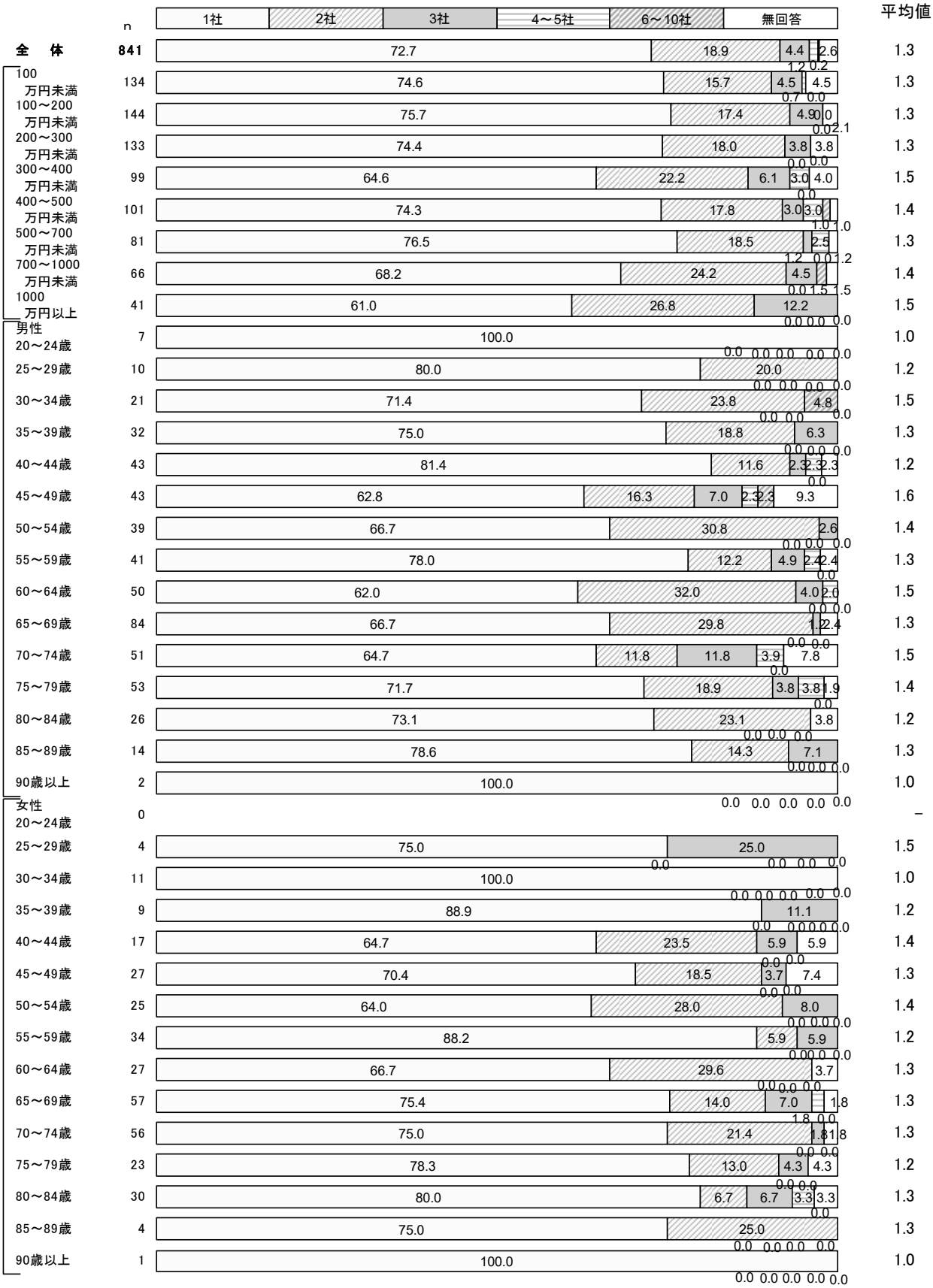
図表 4-10　証券会社との取引状況（問 30）／証券の重複保有状況別（問 36、43、50）



(4) 現在取引している証券会社数（問 30）

● 現在取引をしている人の取引証券会社数は、平均で 1.3 社であり、「１社」と「２社」で９割程度を占めている。

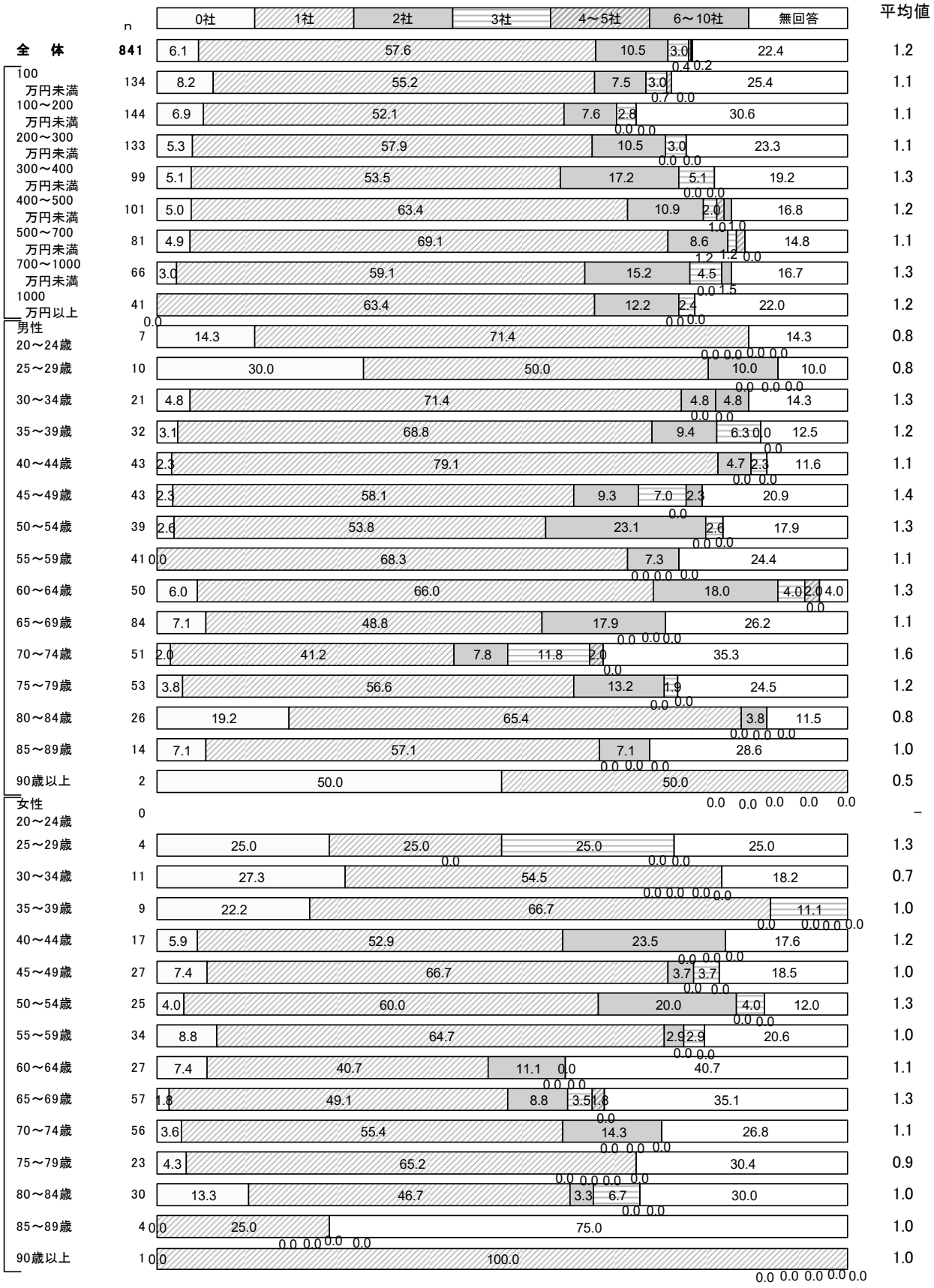
図表 4-11　現在取引している証券会社数（問 30）／年収、性・年代別



(5) 特定口座を開設している証券会社数（問 30）

● 現在取引をしている人に特定口座を開設している証券会社数を尋ねたところ、平均で1.2社であり、「１社」と「２社」で７割弱を占めている。

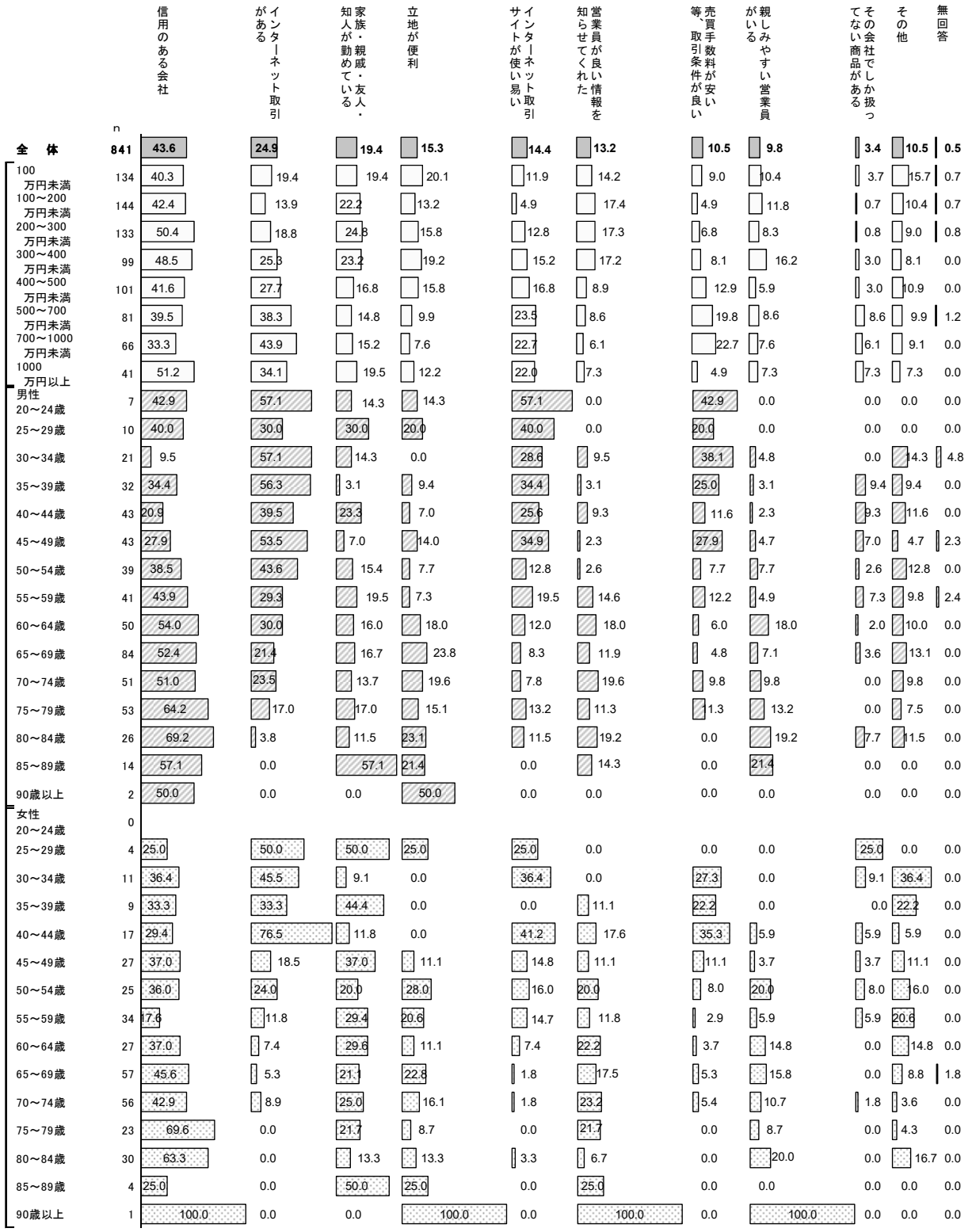
図表 4-12　特定口座を開設している証券会社数（問 30）／年収、性・年代別



(6) 取引している証券会社の選択理由（問 31）

- 証券会社と現在取引中の人に証券会社を選んだ理由を尋ねたところ、「信用のある会社だから」が 43.6%で最も高い。次いで「インターネット取引があるから」（24.9%）、「家族・親戚・友人・知人が勤めているから」（19.4%）、「自宅や勤め先の近くにあるなど立地が便利だから」(15.3%)と続く。
- 年代別でみると、「信用のある会社だから」は高年齢層で高く、「インターネット取引があるから」「インターネット取引のサイトが使いやすいから」は若年層で高い。

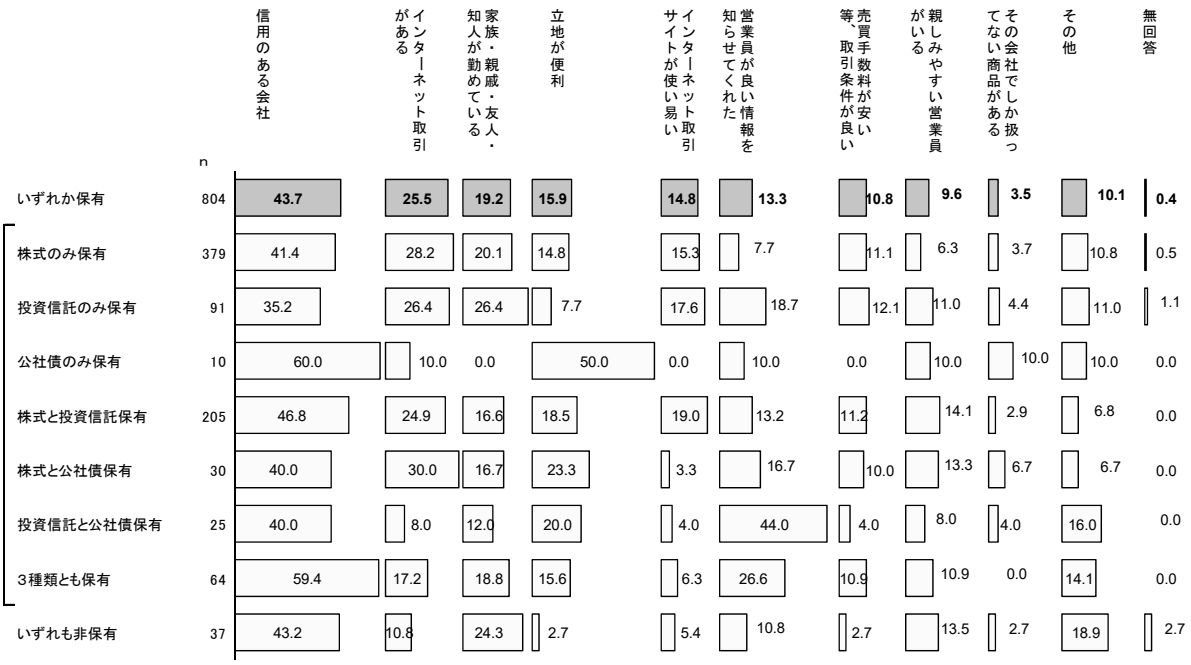
図表 4-13　取引している証券会社の選択理由（複数回答）（問 31）／年収、性・年代別



● 証券の重複保有状況別でみると、保有証券に株式が含まれる場合、「３種類とも保有」は、「単独保有」や「２種類保有」に比べ、「信用のある会社だから」「営業員が良い情報を知らせてくれたから」が高く、「インターネット取引があるから」が低い。

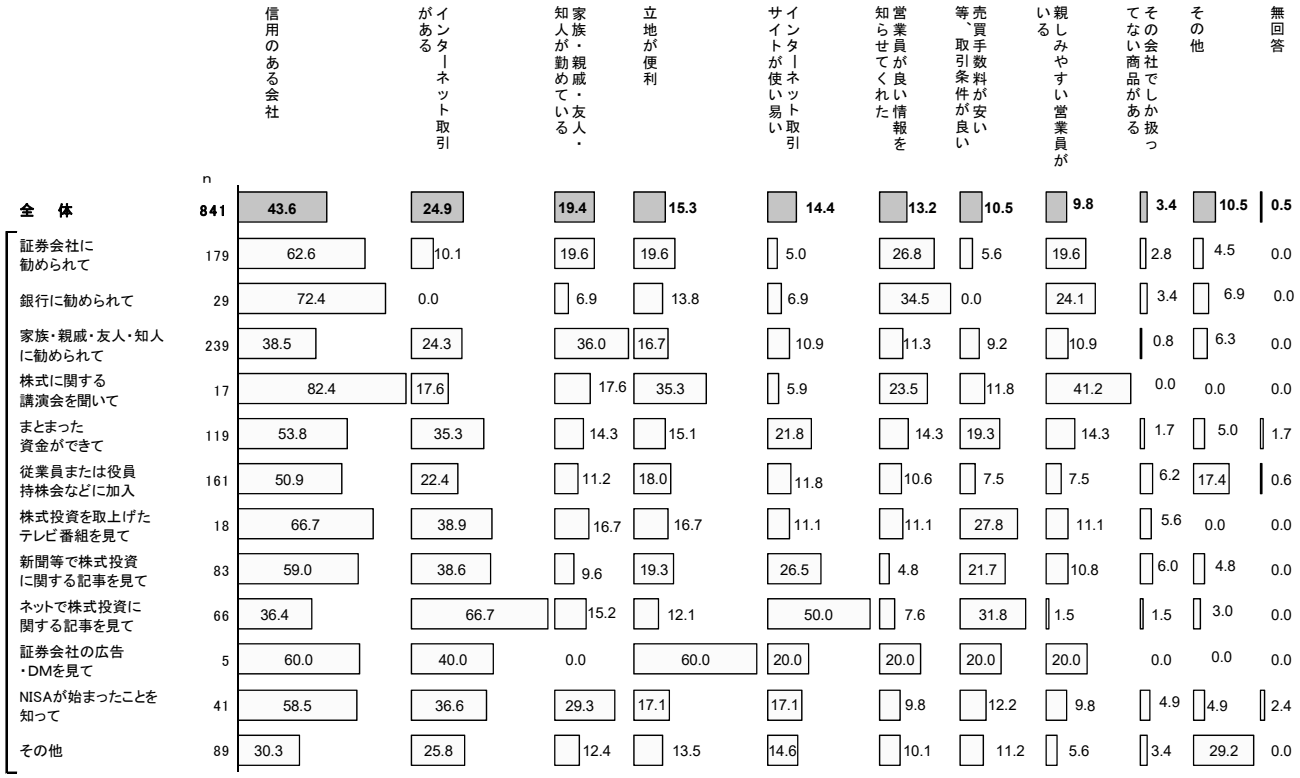
図表 4-14　取引している証券会社の選択理由（複数回答）（問 31）

／証券の重複保有状況別（問 36、43、50）



- 株式購入のきっかけは、「インターネットで株式投資に関する記事を見て」株式購入をはじめた層では、「インターネット取引があるから」が 66.7%と最も高く、次いで「インターネット取引のサイトが使いやすいから」が 50.0%と続く。また、「売買手数料が安い等、取引条件が良いから」が 31.8%と、他層に比べて高い。
- その他のきっかけで株式購入をはじめた層のほとんどは、「信用のある会社だから」が最も高くなった。

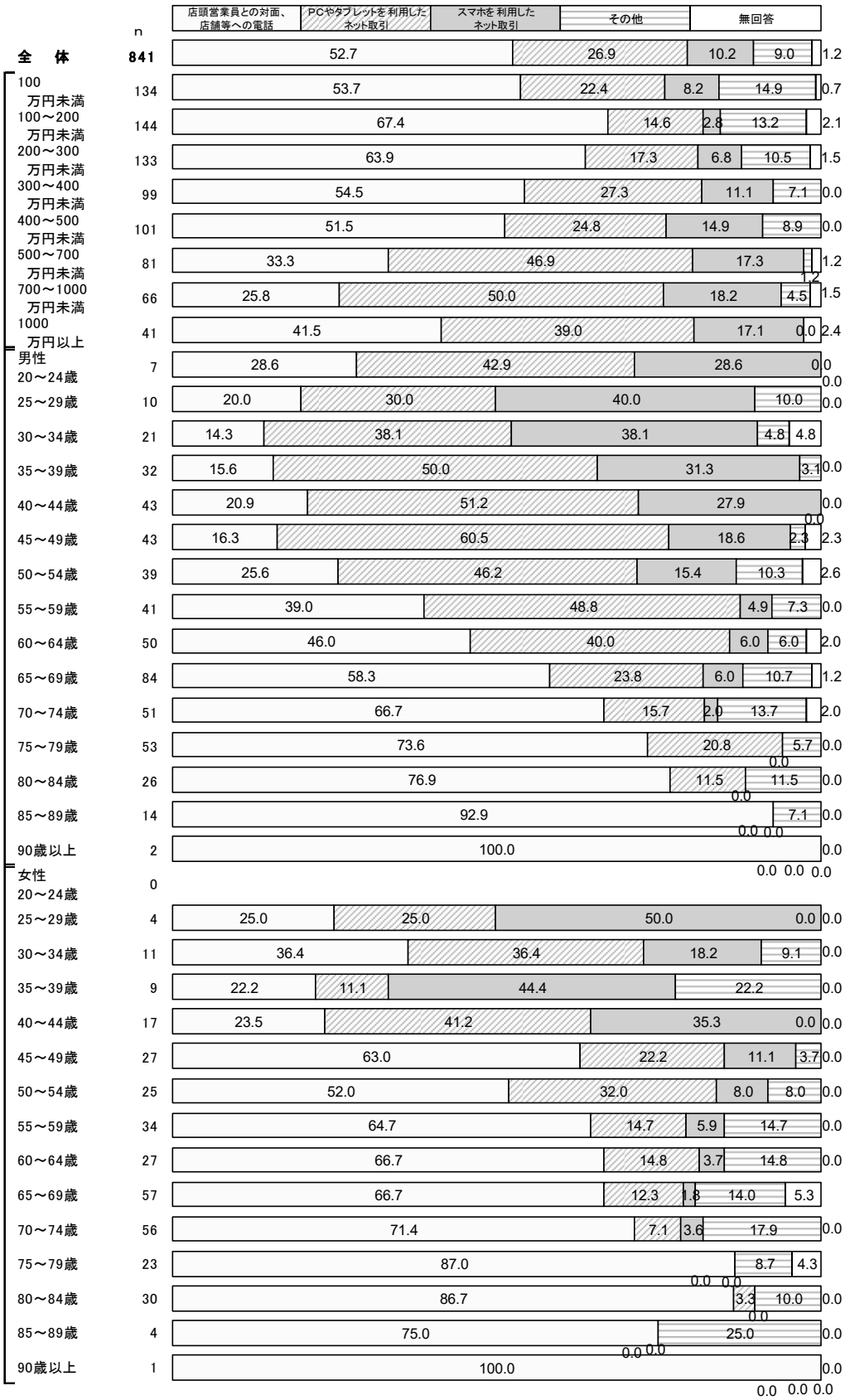
図表 4-15　取引している証券会社の選択理由（複数回答）（問 31）／株式購入のきっかけ（問 37）



(7) 証券会社との主な取引方法（問 32）

- 証券会社と現在取引中の人に主な取引方法を尋ねたところ、「店頭における営業員との対面または店舗などへの電話などにより取引をしている」が 52.7%に対し、「パソコンやタブレットを利用してインターネット取引をしている」は 26.9%、「スマートフォンを利用してインターネット取引をしている」は 10.2%となっている。
- インターネット取引の利用率は、年収 500 万円以上の層で高く、若い人ほど上昇する傾向がある。

図表 4-16　証券会社との主な取引方法（複数回答）（問 32）／年収、性・年代別



(8) 【証券会社と現在取引がない人】証券会社と取引をやめた理由（問 33）

● 「以前取引していたが、現在は取引していない」層に対し、証券会社との取引中止の理由を尋ねたところ、「以前損をした（または期待したような利益が得られなかった）から」が 41.9%で最も高い。次いで、「資金がなくなった（または現金が必要になった）から」（34.0%）、「預金や保険など銀行や保険会社の金融商品による運用に変更したから」（19.7%）が続く。

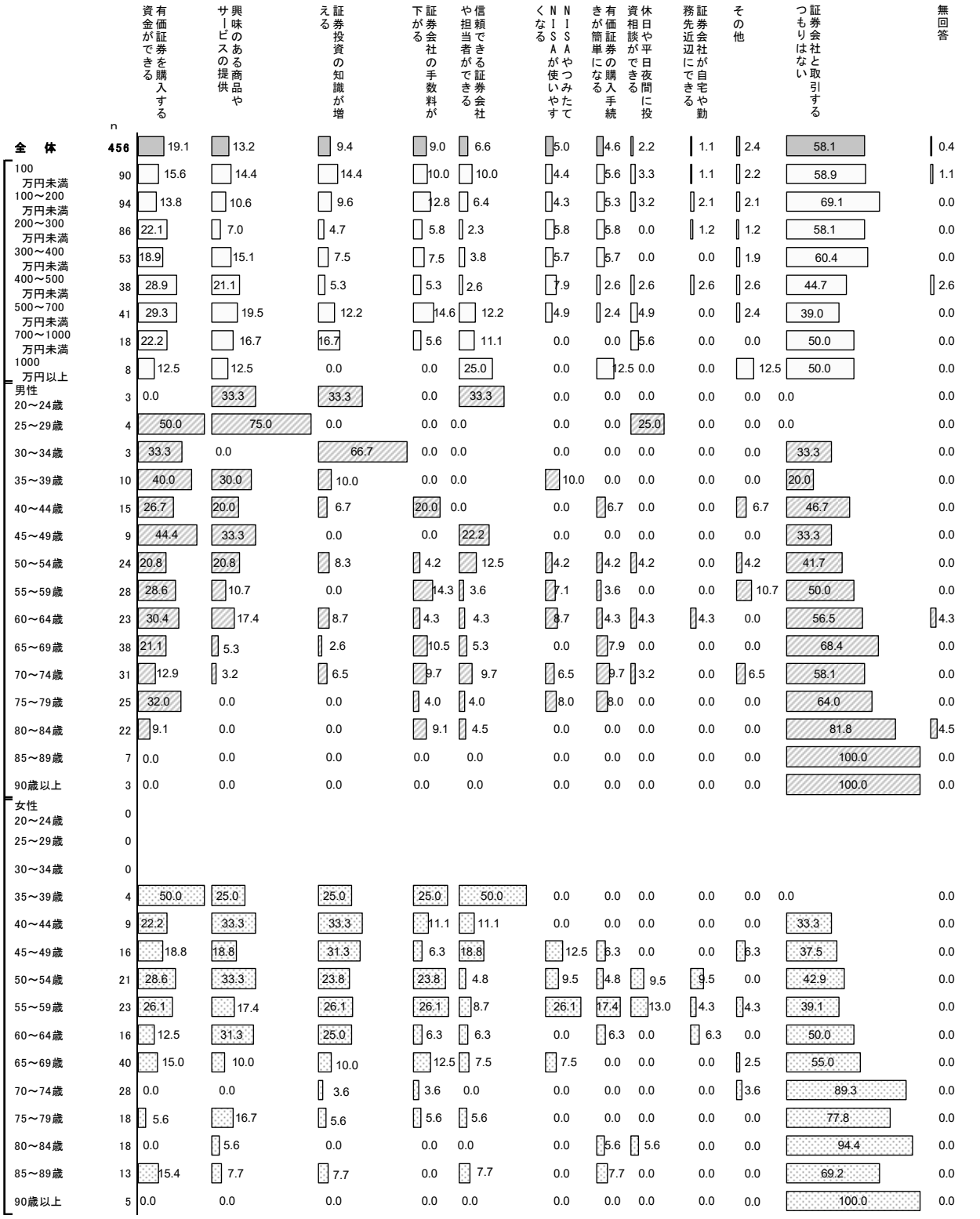
図表 4-17 【証券会社と現在取引がない人】証券会社と取引をやめた理由（複数回答）（問 33）

／年収、性・年代別

	n	以前損をした	資金がなくなった	銀行や保険会社の金融商品に変更した	担当していた営業員が代わった	証券会社のサービスがよくなかった	証券会社との取引時間がなくなった	銀行、投信会社との取引に変更した	証券会社や担当者が信用できない	金融資産保有額が目標達成し運用不要	その他	無回答
全　体	**456**	**41.9**	**34.0**	**19.7**	**10.3**	**9.0**	**7.0**	**6.6**	**5.5**	**3.9**	**9.6**	**0.7**
100万円未満	90	43.3	32.2	21.1	13.3	6.7	10.0	5.6	2.2	4.4	10.0	1.1
100～200万円未満	94	41.5	34.0	22.3	12.8	7.4	7.4	8.5	9.6	2.1	11.7	0.0
200～300万円未満	86	39.5	38.4	19.8	8.1	7.0	5.8	7.0	5.8	1.2	8.1	0.0
300～400万円未満	53	56.6	37.7	15.1	5.7	11.3	3.8	3.8	0.0	5.7	5.7	0.0
400～500万円未満	38	34.2	26.3	18.4	10.5	18.4	7.9	7.9	10.5	2.6	13.2	2.6
500～700万円未満	41	39.0	48.8	17.1	7.3	9.8	4.9	9.8	4.9	9.8	4.9	0.0
700～1000万円未満	18	44.4	27.8	16.7	5.6	0.0	11.1	11.1	5.6	11.1	5.6	0.0
1000万円以上	8	25.0	12.5	25.0	37.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
男性												
20～24歳	3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
25～29歳	4	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30～34歳	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
35～39歳	10	20.0	40.0	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	40.0	0.0
40～44歳	15	46.7	46.7	20.0	6.7	6.7	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0
45～49歳	9	22.2	44.4	11.1	22.2	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
50～54歳	24	37.5	33.3	20.8	12.5	8.3	4.2	4.2	0.0	0.0	12.5	0.0
55～59歳	28	39.3	25.0	17.9	0.0	7.1	10.7	7.1	7.1	3.6	17.9	0.0
60～64歳	23	65.2	47.8	13.0	8.7	21.7	4.3	4.3	17.4	4.3	0.0	0.0
65～69歳	38	47.4	36.8	13.2	5.3	15.8	2.6	5.3	13.2	5.3	7.9	2.6
70～74歳	31	54.8	35.5	22.6	9.7	9.7	6.5	9.7	9.7	3.2	6.5	0.0
75～79歳	25	48.0	56.0	16.0	12.0	16.0	4.0	8.0	12.0	4.0	12.0	0.0
80～84歳	22	50.0	31.8	18.2	0.0	9.1	4.5	0.0	4.5	0.0	13.6	4.5
85～89歳	7	57.1	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0
90歳以上	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0
女性												
20～24歳	0											
25～29歳	0											
30～34歳	0											
35～39歳	4	25.0	50.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40～44歳	9	22.2	33.3	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0
45～49歳	16	31.3	31.3	37.5	6.3	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0
50～54歳	21	42.9	23.8	33.3	4.8	0.0	19.0	9.5	0.0	9.5	4.8	0.0
55～59歳	23	30.4	30.4	21.7	13.0	4.3	8.7	8.7	0.0	4.3	21.7	0.0
60～64歳	16	50.0	6.3	12.5	31.3	12.5	6.3	0.0	6.3	18.8	6.3	0.0
65～69歳	40	45.0	32.5	25.0	17.5	12.5	10.0	10.0	7.5	0.0	2.5	0.0
70～74歳	28	53.6	32.1	28.6	10.7	7.1	3.6	14.3	3.6	0.0	7.1	0.0
75～79歳	18	38.9	44.4	16.7	11.1	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0
80～84歳	18	22.2	44.4	22.2	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	16.7	0.0
85～89歳	13	30.8	15.4	15.4	15.4	7.7	7.7	7.7	0.0	7.7	15.4	0.0
90歳以上	5	40.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0

(9) 【証券会社と現在取引がない人】証券会社との取引再開の条件（問 34）

● 「以前取引していたが、現在は取引していない」層に対し、証券会社との取引再開の条件を尋ねたところ、「有価証券を購入する資金ができたら」（19.1%）、「興味のある商品やサービスが提供されたら」（13.2%）が上位に挙がる。ただし、「証券会社と取引するつもりはない」が 58.1%で最も高い。

図表 4-18 【証券会社と現在取引がない人】証券会社との取引再開の条件（複数回答）（問 34）

／年収、性・年代別